

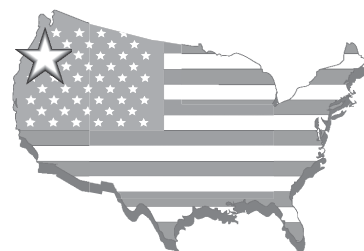


Tokyo, JAPAN

アメリカ留学日記 私の異文化体験記 (1)

早稲田大学文化構想学部 3 年

三浦 礼子



Portland, OR, U.S.A.

2009 年 9 月から 2010 年 6 月まで、オレゴン州ポートランドの Portland State University に留学します。
このコラムでは、私の留学生としての「異文化体験」を記していきます。

1、自己紹介

はじめまして、こんにちは。早稲田大学文化構想学部3年の、三浦礼子です。聞きなれない学部かもしれませんが、それもそのはず。文化構想学部は、それまで早稲田大学にあった第一文学部と第二文学部を再編・統合し、2007年に新しく誕生した学部だからです。私はその第一期生にあたります。

この学部で学べる分野は、地域文化、メディア、ジャーナリズム、異文化接触、心理学、社会福祉、感性哲学という授業では愛と死についてまで... 挙げていくときがなくなるくらい本当に多岐にわたっています。

私たち学部生はこのように広大な分野の中から、主に1・2年生次に基礎的な講義をとり各分野への興味や理解を広げます。そして、3年生になるとそれぞれが専門の分野に分かれ、ゼミと呼ばれる少人数制のプレゼンやディスカッションを中心としたクラスに参加できるようになります。

私が所属しているのは、「現代の異文化コミュニケーション」というゼミです。短期的な文化交流ではなく、異文化間のコミュニケーションや多文化共生について、長期的に向き合っていく必要だ、というのがゼミのコンセプトです。「国際交流」という言葉に置き換えてみると、聞こえは華やかかもしれません。自分が今まで知らなかった世界を知り、カルチャーショックを受けるということは、確かに新鮮で面白いものです。しかし、現

代は人・モノ・お金や情報が日々激しく移動する時代です。文化と文化の境界上ではさまざまな問題が起こっています。民族間の紛争、宗教の違いによる差別や暴力、貧困に環境破壊。すぐには解決できないものもたくさんあります。

もちろんこのようなグローバルなレベルでの問題も多く存在しますが、ゼミ生のほとんどはより身近な、自分たちに直接かわりのある範囲にテーマをしばらく研究を始めています。海外から見た日本人、メディアに現れる日本のイメージ、国際結婚、学校教育など、自分の経験から感じることや興味を持った話題の中で浮かび上がってくる疑問や問題において、自分が行動できることは何か?を考えているゼミ生が多いように思います。

私はというと、2009年の9月から約10か月間、オレゴン州のPortland State Universityに留学します。早稲田のプログラムなので、初めのうちは語学力を上げるためのクラスを多く受講することになります。それによってWinter Termからは、PSU正規の授業も受講できるそうです。私はこの10か月の間に自分のゼミの個人テーマでもある教育関係、海外経験のある日本に住む子供（例えばインターナショナルスクールに通う子供）や海外に暮らす子供たちがどのように2つ文化を身につけていくのか、またはどちらかの文化を身につけるのか、ということも勉強していけたらと思っています。Portlandには日本人補習校という学校もあるということを松本先生に伺ったので、ぜひ訪ねてみたいと考えています。

2、日本での大学生活

私のキャンパスライフですが、周りの人や環境に恵まれて、かなり充実して過ごすことができています。中学高校時代には部活に没頭し、ほぼ練習漬けの生活を送っていましたが、それとはがらりと生活が変わりました。もちろん中高時代も、好きで続けていた部活でしたが、大学生になり自由な時間が増えると何か新しいことにチャレンジしたくなるものです。そこで私



スキューバダイビングサークルの同期と三宅島にて